

新規陶芸用薪窯の開発支援

支援の背景

沖縄クチャ・赤土造形企業組合ではH16年度の産学官連携スタートアップ事業において新規陶芸用薪窯の開発を行いました。当該企業から、開発した窯の性能を評価するため、焼成体の物性測定方法や関連機器の操作法について技術指導の依頼がありました。

支援内容

- ①焼成物の物性（強度、吸水率・気候率）に関する測定法について指導しました。
- ②強度試験機など、機器の操作について指導しました。



新規薪窯(1号機)



新規薪窯(2号機)

支援の成果

焼成物の評価結果などから陶磁器用焼成窯として十分な能力があることがわかり、コンパクトで熱効率が良く、迅速焼成可能な新規陶芸用薪窯の開発・改良につながりました。